

第3種郵便物認可

あなたの安心

盗聴、盗撮にはどんな防衛策があるだろうか。

◆盗聴

「セコムIS研究所」(東京都三鷹市)の甘利康文さんは、賃貸住宅への入居時には注意が必要だと指摘する。

侵入を許さないため、入居前に部屋の鍵と錠が交換されたか確認することが大事だ。また、「前の住人が残していったものに用心を」という。コンセントのタップなどに盗聴器が仕掛けられている可能性もあるからだ。

安全生活アドバイザーの佐伯幸子さんは電話の種類に注意を呼びかける。通話データがデジタルで暗号化されている携帯電話と違い、よく子機として使用されるコードレス電話はアナログもまだ相当数あるとみられ、会話が盗み聞

きされる危険性が高い。「大事な話は親機か携帯電話で」と佐伯さん。親が赤ちゃんの様子を離れ

壁に耳あり 障子に目あり

盗聴・盗撮を防ぐ⑤

たところで確認できる「赤ちゃん(ベビー)モニター」も音が他人に受信される危険性があるという。「使用時の音声は電波を使っている関係上、第三者により、故意または偶然に受信されるケースも考えられます」とただし書き付きの商品もある。

◆盗撮

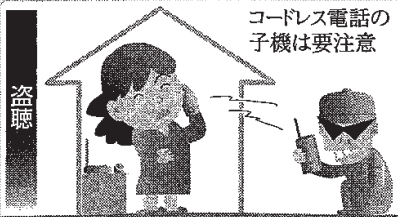
佐伯さんによると、家の玄関のドアスコープを外され、盗撮される危険性もあるという。玄関と部屋の間、カーテンやのれんなどの仕切りを

すると対策になる。また、マンションの高層階の部屋だからといっても安心

はできない。遠方から部屋の様子を見望レンズで狙われることもありえる。「窓の外に

被害に遭わないためには?

- ① 入居前、鍵と錠を交換
- ② 元住人の遺留品に用心
- ③ 更衣室では周囲を確認



コードレス電話の子機は要注意

盗聴

盗撮

ドアスコープから隠し撮りされる危険あり

The Asahi Shimbun

は他人の目があると思つた方がいい」と佐伯さん。女性は更衣室や脱衣所での注意も必要。服を脱ぐ前に、周りの不審物のチェックが大事だ。「女性による盗撮もあるので、同性だからといって油断は禁物」。金融機関の現金自動出入機(ATM)に小型カメラを仕掛け、暗証番号を盗撮し、偽造カードで現金を引き出す事件も起きている。甘利さんはATMを使うときは、手元を反対側の手で覆うようにしているという。「壁に耳あり、障子に目あり」の慎重さが最大の防御策かもしれない。

★ご意見・体験は、メールseikatsu@asahi.com